

2025 年度 東北工業大学建築学専攻 大学院試験 「建築計画」Ⅰ期

受験番号		名前	
------	--	----	--

(1) 以下の用語の中から3つ選択肢、それぞれの用語の意味を説明しなさい。

1. レンタブル比 2. プロセニウム 3. ナイチンゲール病棟
 4. オープンスクール 5. 開架方式 6. デイサービスセンター
 7. 病院と診療所(定義) 8. 総合教室型

出題意図：建築学専攻での学修に必要となり、また建築士試験（建築計画分野）でも必要とされる基本的かつ重要な用語と意味の理解を問う。

選んだ番号（ ）

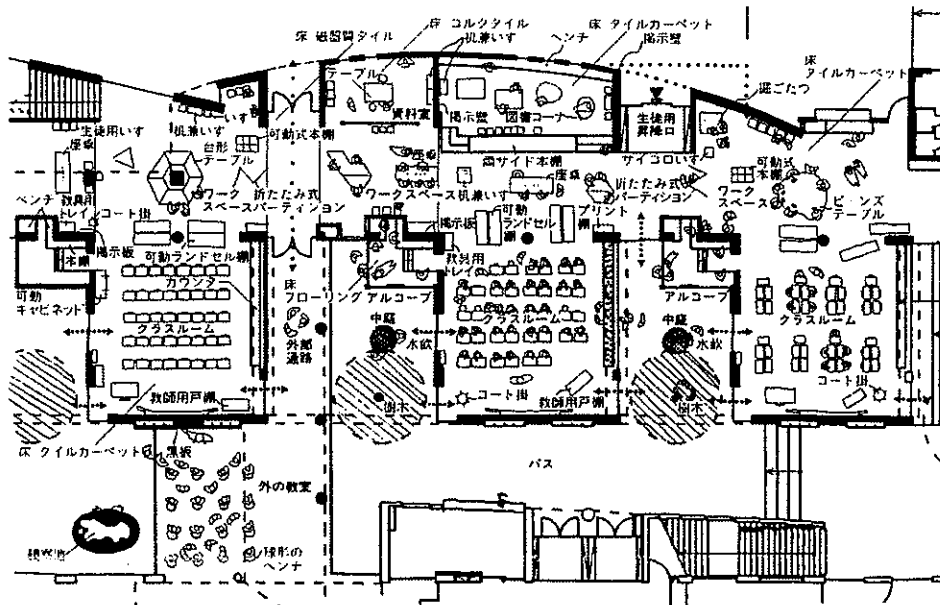
1. オフィスなどにおける貸しうる面積の割合。
2. 観客からみて絵画の額縁にあたる部分。
3. ベッドを外壁に直角に配置し、適切なベッド間隔を確保するなど療養環境改善を図るナイチンゲールが提唱した病棟。
4. 閉鎖的な教室や教育のあり方を開いていく試み。
5. 閲覧者が直接書籍を選び取り出すことができる書架。
6. 在宅生活をする要介護者が通って過ごす通所型の施設。
7. 入院ベッドが20床以上のものを病院、19床以下もしくは0のものを診療所。
8. 教室またはそのまわりで大部分の学習を行う方式。

選んだ番号（ ）

選んだ番号（ ）

出題意図：平面図を読み込みその特徴を理解する平面計画における能力の確認と各種施設の計画において必要となる代表的かつ特徴的な事例および平面図の理解

(2) この建物について回答しなさい。



- ① 施設種別
- ② 設計者
- ③ 施設名
- ④ 建築空間的な工夫や特徴

小学校

シーラカンス

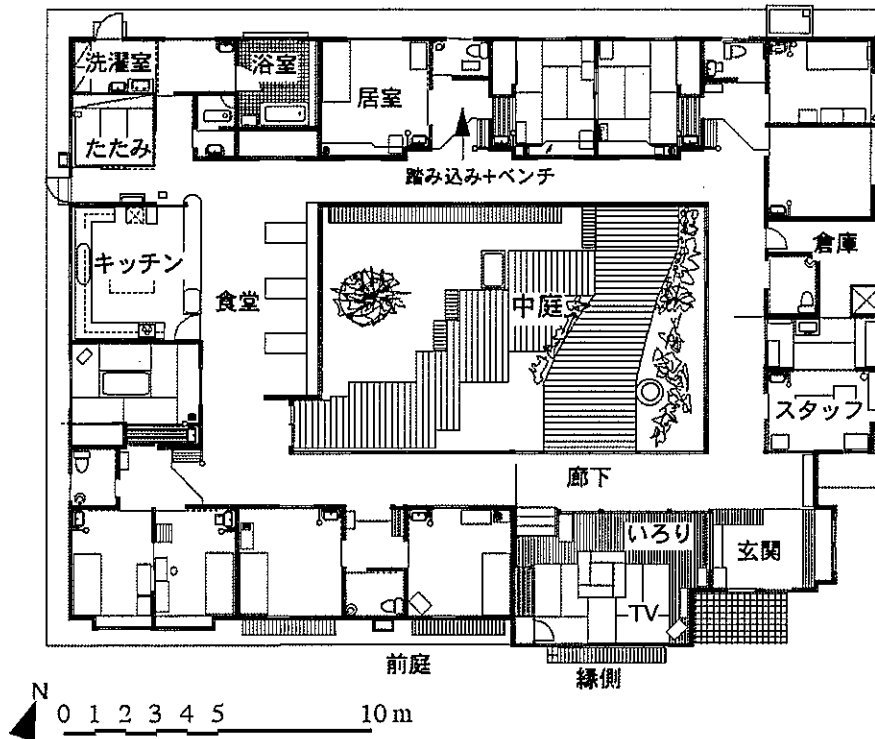
打瀬小学校

解答例：

- ・沿道型のまちに開かれた学校
- ・活動（アクティビティ）を誘発する空間
- ・アルコーブなど子どものスケールに合わせた空間
- ・低中高学年ごとのブロックによる構成
- ・回遊動線による学年領域の連続
- ・透明感のある明る学校、教室構成

出題意図：平面図を読み込みその特徴を理解する平面計画における能力の確認と各種施設の計画において必要となる代表的かつ特徴的な事例および平面図の理解

(3) この建物について回答しなさい。



① 施設種別

認知症高齢者グループホーム（介護施設）

② 対象者

認知症高齢者

③ 施設名

こもれびの家

④ 建築空間的な工夫や特徴

解答例：

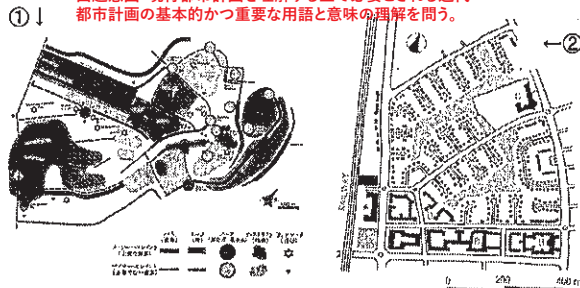
- ・オープンカウンター形式のキッチン
- ・居室前の滞在できる踏み込みのベンチ
- ・中庭を介して様子や雰囲気を共有できる平面
- ・たたみ小上がりや玄関ベンチなどの多様に設えられた居場所
- ・和室、洋室で構成された居室
- ・利用者がコントロール可能な居室内の障子
- ・典型的な民家の光景や生活を想起させるいろりや縁側

2025 年度 東北工業大学建築学専攻 大学院試験 「都市計画」 I 期

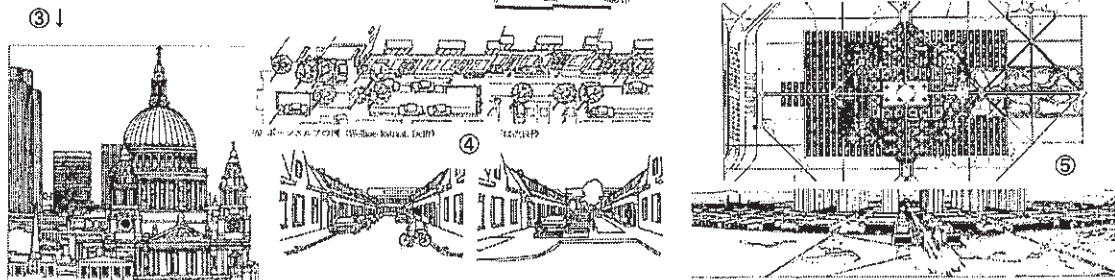
受験番号	名前
------	----

問題4 下の図版にあてはまる名称とその説明をそれぞれ選び、解答欄に記号で記入しなさい。

出題意図：現行都市計画を理解する上で必要とされる近代都市計画の基本的かつ重要な用語と意味の理解を問う。



図番号	名称	説明	国名
①	G	a	ニ
②	D	b	ニ
③	A	e	イ
④	E	c	ト
⑤	F	d	リ



名称

- A. 景観誘導 B. バロック都市 C. 工業都市構想 D. ラドバーン方式
E. ボンエルフ F. 三百万人都市 G. イメージマップ H. 田園都市構想

説明

- a. 都市計画家ケビン・リンチによる都市解析の手法。新たな都市景観の見方を示した。
b. クルドサックによる歩車分離の徹底と共同緑地の配置を施した居住地計画。
c. 地区交通環境の整備の一例で、歩行者と車を共存させる方式の原型。
d. 広大なオープンスペースに囲まれた摩天楼都市、60階建ての中心地区・8階建ての連続住宅を計画。
e. 重要なヴィスタポイントから都市のランドマークを視認できるようにするための計画。

国名（複数使用可能）

- イ. イギリス ロ. フランス ハ. 日本 ニ. アメリカ ホ. インド
ヘ. エジプト ト. オランダ チ. フィンランド リ. 構想（架空） ヌ. 中国

問題5 次の用語のうち3つを選択し、具体例を挙げ、その概要と問題点を説明しなさい。

●放射環状型道路網

東京のような巨大な市街地がすでに成立している場合に採用されることが多い。歴史を有する放射状の道を骨格とし、市街地の拡大に伴って新規に加えられる環状線によって構成される。合理的な形で、多くの都市で採用されているが、放射線と環状線の結節点で滞留が発生する弱点もある。

●コンパクトシティ構想

コンパクトシティは、1970年台に無秩序な都市拡散への反省から提唱が始まり、90年代に環境配慮型都市として世界的にその概念が普及した。その概念は妥当であるが、中心部の高層マンション乱立による過密化や、広がりすぎた郊外都市の維持・存続の課題克服には至っていない。

●田園都市構想

大都市に工業集積・人口集中が進み、都市間に鉄道が敷設されつつあった19世紀末、エベネザード・ハワードによって、明日の田園都市（構想）が提案された。レッチワース（イギリス）などに実現し良好な郊外住宅計画・歩車分離の徹底に加え、緑地計画の起源と言われるなど、これらの構想・計画は世界的に影響を与えた。

●HOPE計画

1983年に旧建設省が創設したHOPE計画は、住宅の「量から質」への転換期において、地域の特性や住文化を反映した居住環境整備を目指した制度である。国主導の画一的施策から脱却し、地方自治体が地域景観や高齢化、民間活力の活用を主導した、地方分権的なまちづくりの先駆的な住宅制作の事例である。

問題6 次の用語および図について、その概要と問題点を説明しなさい。用語については具体例（地域名）を挙げ説明し、図についてはこの地区で起こりうる現象と問題、その理由を述べる。出題意図：現代の都市問題を解釈する上で重要と思われる事例についての理解を問う。

1) 近隣住区論

アーサー・ペリーが1929年に提唱した近隣住区論は、小学校区を一つの住区単位とし、安全で快適な居住環境の確保を目指した住宅地計画原理である。幹線街路を境界とし、内部への通過交通を排除する街路体系、中央部への学校・公共施設の集約、小公園や商業地区の適切な配置など6つの原則から成る。各国の実情に応じ都市計画基準に広く採用されたが、住民間のコミュニティ形成など社会的側面については批判もあるが、やはり擁護者も多数存在する。

2) 右図について

前近代（江戸期）から続く町割を基盤とした旧街道沿いの現在の土地利用を示す図である。ヴォリュームの小さな建物も散見されるが、実際には、短冊形に細長く伸びた敷地に高層マンションが林立している。同様の現象は、各地で散見され、「ドミノマンション問題」として、しばしば都市課題に取り上げられることがある。

